

市制施行85年 写真帖からみる当時の直方

直方が市制施行したのは1931年(昭和6年)1月1日から。85年前の直方市を「市制施行記念写真帖」から見てみましょう。

★「市制施行記念写真帖」直方市 NL748ノ ★

〈運輸〉

直方駅：乗降客 1,690,513人 鞍手軌道：乗降客 151,800人
貨物 18,684t 貨物 2,591t
中泉駅：乗降客 217,928人
貨物 4,555t



図書館も！

図書館は昭和3年9月に開館。昭和5年には蔵書数4,453冊 閲覧者11,876人 巡回文庫で各学校を回っていた。

〈資本金五万円以上の銀行・会社・工場〉

十七銀行・堀鋳業・谷弥商店・直方鉄工所・鞍手自動車・石原商店・庄野醤油製造場など32社

〈公園・遊園地〉

日若公園(多賀神社)・中泉集楽園・堀農園・鴨生田公園・須賀神社神苑・小野牟田池

〈教育〉

県立中学校・県立女学校・筑豊鋳山学校・私立商業学校・私立女学校・小学校高等科・小学校尋常科・実業補習学校

直方町は筑豊の中心に位置し物産の集散地でした。直方町の近隣には炭鋳があり、炭鋳用機械の需要のため鉄工業が盛んになり、紙類・茶・呉服・文具などの物品の卸商の取引高は当時福岡県下一でした。町内には官公庁や学校が建ちならび、都市として発展していました。市制施行の申請書からは町づくりへの希望と意欲が感じられます

直方あの頃

昭和5年～昭和7年

直方町から直方市になった昭和6年頃、直方では、ほかにどんな出来事があったのでしょうか。また、この年になにが流行したのでしょうか。

昭和5年(1930年)

7月 40年来の大暴風雨、北部九州被害甚大
この年、ロングスカートが流行

昭和6年(1931年)

7月 直方信用金庫新町支店開く
この年、チンドン屋出現

昭和7年(1932年)

7月 多賀神社神苑に忠魂塔建設、除幕式を行う
この年、「涙の渡り鳥」流行



直方市合併の歩み

明治 22 年以前	大正 15 年以降
直方町 山部村	直方町
上新入村 下新入村 知古村	新入村
畑村 永満寺村 上境村 中泉村 金田屋敷 (田川郡市 場)	福地村
頓野村 上頓野村 感田村	頓野村
下境村	下境村
植木村	植木町

明治 21 年「市制及町村制」の公布によって直方でも町村の合併が行われ、明治 22 年 4 月 1 日から 1 町 5 村が発足しました。

さらに大正 15 年には、直方町・新入村・福地町・頓野村・下境村の五ヶ町村が合併し、同年 1 月 1 日より新しい直方町が誕生しました。昭和 6 年、筑豊の中心地として都市としての機能を備え、発展を目指し直方市となりました。昭和 30 年鞍手郡植木町と合併し現在の直方市になりました。

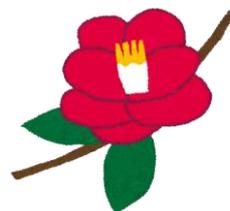
直方町合併記念の本

「創建三百年直方町記念誌」「頓野村合併記念誌」

「旧新入村誌」「植木町誌」

「旧福地村誌」

和田泰光編 筑豊ノ実業社 NL219 ノ



はじめの一步 ~郷土資料の紹介~

直方市立図書館にある郷土関係の本を紹介していきます。

郷土の歴史や文化に興味をもっといただくきっかけになればと思っています。

前回に引き続き、炭鉱に関する資料をご紹介します。

明治以降、日本の近代化を支えた石炭産業。坑夫や家族たちがどのような生活をしていたのか、炭鉱に関わることへの想いがわかる資料です。

「筑豊の石炭に生きた日々の記憶」

長弘雄次/文字の花書房/NL567 ち

「炭坑美人」

田嶋雅巳/築地書館/N567 ち

「私は負けない」

山下勝子/知書之屋本舗/N914 ク

「炭坑(ヤマ)の子ども・学校史」

林正登/葦書房/N372 ち



直方市立図書館

直方市山部 301-1 コメニティのおがた内

TEL 0949-25-2240 FAX 0949-23-3902

<http://www.yumenity.jp/library/library.htm>